

第2回真壁地区学校統合準備委員会次第

日時：令和4年11月30日（水）

午後7時から

場所：真壁伝承館 まかべホール

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

（1）統合時期について

（2）各分科会の予定について

（3）その他

4 閉 会

(1) 統合時期について

①第1回真壁地区学校統合準備委員会で報告されたご意見

10月26日に開催された第1回真壁地区学校統合準備委員会では、各学校の代表の方から以下のとおり、統合時期について報告がありました。

○各学校の代表者からの報告

学校名	谷貝小学校	統合年度	令和8年度
【主な理由】 <ul style="list-style-type: none">・谷貝小学校独自のアンケート結果 約4割…令和8年度 約3割…令和6年度 その他…令和7年度・9年度・10年度①現在の桃山学園までの通学路が狭く、送迎が集中してしまうと渋滞が発生してしまい危険と聞いている。通学環境が整ってからの統合が望ましいという意見が多く、新しい通学道路の完成予定が令和8年度中と聞いているため。②受験の時期に統合する子どもが、環境の変化に柔軟に対応できるか、不安な保護者が多く、ある程度の時間をかけて対策していくことが必要と考えているため。③中学校の在学途中で統合するなら、小学校を卒業する時に、別の中学校や中高一貫校に入学させたいと考える保護者もあり、統合時期を令和8年度以降にすれば、選択肢も増えて、問題を少なくできるため。 【令和6年度と回答した保護者から出た意見】 <ul style="list-style-type: none">・統廃合に不安やマイナス面はあるが、子どもたちにとったらプラスになることもあると思う。・人数が増えることで、子供たちの社会への適応力や部活動のレベルアップなどメリットも多くあると思う。			

学校名	樺穂小学校	統合年度	令和6年度
【主な理由】 <ul style="list-style-type: none">①令和3年に市が策定した「桜川市公共施設個別施設計画」で、樺穂小学校は老朽化により、市内小中学校で唯一、躯体、屋根、外部、内部、機械、電気が全て最低のD判定となっている。建物の耐震強度は取れているが、今後東日本大震災のような大地震が起きた場合、老朽化した校舎にどのような被害が出るか分からないため。②出生数の減少により、入学する児童数も減少しており、学校生活の中で、様々な考えに触れたり、切磋琢磨しながら、1人1人の資質や能力を伸ばしたり、社会性コミュニケーション能力向上を高めたりすることが難しくなるため。③現在の6年生の保護者が集まって会議を行った結果、5月に実施された保護者アンケート結果を尊重すべきと全員一致の意見があったため。			

学校名	桜川中学校	統合年度	令和7年度
<p>【主な理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜川中学校独自のアンケート調査を行った結果、令和7年度統合を要望する意見が一番多かったため。 ①統合時期を令和6年度とした場合、現在の中学1年生の生徒は、中学3年生の受験を迎える時期に、統合を迎えることになり、大きな不安があるため。 ②統合を入学前に周知されておらず、他の中高一貫の学校を受験するといった選択の機会が失われてしまったため。 ③桃山学園周辺の通学環境について、雨の日に渋滞し、近隣住民から苦情などがあると伺っており、周辺住民の方への影響を考慮すると、インフラ整備の完了時期に合わせての統合が望ましいため。 			

学校名	桃山学園	統合年度	令和7年度
<p>【主な理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺のインフラ事情が悪く、運動会でも朝の大渋滞を起こしてしまっていて、近隣住民の方にご迷惑をかけてしまった。また、雨の日も、車が集中してしまい、時々、バスが通れないような状況にもなっている。桃山学園までのアクセス道路の整備を7年度、8年度で進めているが、8年度まで伸ばしてしまうと、子どもたちにあまり良い影響が出ないのではないかとということも考えている。 ・桃山学園は、統合を経験しており、閉校式典も非常に大変だったという印象があるため、谷貝小・樺穂小・桜川中もしっかりと閉校していただいてから、桃山学園に入ってもらえればと考えている。 ・PTAとして、保護者だけでなく、先生方も一緒になって新しく統合していきたい。 			

②樺穂小学校の校舎について

「桜川市公共施設個別施設計画」から抜粋（別紙のとおり）。

③桃山学園までのアクセス道路について

建設課より説明（別紙のとおり）。

(2) 各分科会の予定について

桃山中学校区統合準備委員会のスケジュールを参考に、各分科会で協議を進めていきます。

令和4年度

第2回 真壁地区学校統合準備委員会 議事概要

日 時：令和4年11月30日（水）

場 所：真壁伝承館まかべホール

1. 統合時期について

○第1回真壁地区学校統合準備委員会の内容の整理

谷貝小	R8年度	<ul style="list-style-type: none">・独自アンケート調査の結果（4割：R8, 3割：R7）。・桃山学園までのアクセス道路の完成がR8と聞いている。・統合時期がR8以降ならば、別の学校に入学する選択もできる。
樺穂小	R6年度	<ul style="list-style-type: none">・「桜川市公共施設個別施設計画」（R3策定）で、老朽化により、躯体など多くの項目でD判定。耐震は取れているが、大地震が起きた場合、校舎が不安。・児童数の減少に伴うデメリットが大きい。・保護者アンケート結果を尊重すべき（小6保護者全員から）。
桜川中	R7年度	<ul style="list-style-type: none">・独自アンケート調査の結果、R7が一番多かった。・統合を入学前に周知されておらず、他の学校に入学する選択の機会が失われてしまった。また、現在の中1の生徒は、受験の時に統合を迎えることとなり、大きな不安がある。・アクセス道路の完了時期にあわせた統合が望ましい。
桃山学園	R7年度	<ul style="list-style-type: none">・桃山学園までのアクセス道路の整備をR7～R8年で進めており、R8だと子どもたちに良い影響がでない。

⇒樺穂小学校の校舎の状況や桃山学園までのアクセス道路の整備状況などを確認のうえ、統合時期については、第2回真壁地区学校統合準備委員会に持ち越しになる。

○樺穂小学校の校舎について（企画課公共施設建設室からの説明）

- ・「桜川市公共施設個別施設計画」（令和3年度策定）を基に説明。
- ・IS値とは、建物の耐震性能を示す値。

震度6強、7弱の地震に対して…	
IS値が0.6以上	：倒壊または倒壊する危険が低い
IS値が0.6未満0.3以上	：倒壊または倒壊する危険が徐々に高まる
IS値が0.3未満	：倒壊または崩壊する危険が高い

- ・南校舎：IS値が0.78、北校舎：IS値が0.60、屋内運動場：IS値が0.87（耐震補強済）
- ・樺穂小学校は、東日本大震災の後に、被災度区分判定調査を行い、建物の状況を確認。
⇒安全に生活できる形で、屋根や外壁の部分補修を実施。

- ・耐震性能は、2階から3階になると悪化していく。
⇒2階より3階の方が、一度にかかる荷重が大きいため。樺穂小学校は、2階建てであり、IS値も0.6以上のため、地震に耐える力が残っている。

○市内小学校の事例

- ・岩瀬東中学校校舎は0.28、岩瀬西中学校校舎0.44であったが、現在は、耐震補強済み。
- ・真壁小学校校舎は0.31で、平成23年3月の東日本大震災を迎えて、校舎が被災。
⇒被災度区分判定調査を基に、緊急の耐震補強工事を実施し、耐震性能を0.49まで解消。
- ・真壁小学校の体育館は、余震により被災度が大きかったため、使用を中止にした。

○樺穂小の劣化調査結果一覧

- ・校舎は、外構のC判定を除き、躯体、屋根、外部、内部、電気設備、機械設備がD判定。
⇒「経過年数による評価」と「目視による評価」を加味して、AからDの4段階の評価。
⇒経過年数が20年未満の建物はA評価、20年から40年の建物はB評価、40以上の建物はC評価から始まる。
⇒樺穂小学校の南校舎と北校舎は、40年を超えているので、C判定から始まる。
- ・樺穂小学校の躯体について、基礎の状況に問題はないが、北校舎のトイレの外壁に、窓枠からクラックがあるためD判定となっている。
- ・樺穂小学校の校舎のクラックは、構造上重要な耐力壁（建物が地震などの水平力に耐えるために必要な構造力学上重要な役割を担う壁）の部分ではないため、D判定ではあるが、構造上問題はない。

○まとめ

- ・樺穂小学校の校舎は、震度6強から7弱の地震に対して、耐震性はおおむね確保されている。しかし、経過年数による劣化が進んでいるため、緊急性はないが、中長期を見据える場合には、定期的な検査と計画的な対応が必要となってくる。

○質問

- ・IS値について、文科省では0.7以上を推奨、国交省は0.6以上を基準とするとなっているが、その基準を割っていても、特に問題がないのか？
⇒国交省の構造耐震指標は、0.6以上を求めている。文科省では、これに性能を割り増しして耐震補強をするときには、0.1上回って0.7としている。
⇒東日本大震災の時、真壁地区は、震度6弱であった。樺穂小学校は、東日本大震災クラスに耐えているというのも判断の参考にしている。
- ・現状は、0.6を下回っているか？
⇒調査の時期から、年数が経っているので、若干下がっている可能性はある。

⇒新築住宅の場合も、IS 値は 0.6 相当である。

○樺穂小学校の校舎の対応について

- ・統合とは関係なく、必要な校舎の補修や修繕などは行うとともに、学校の先生方と避難の方法を確認するなどして、必要な対策を行っていく。

○桃山学園までのアクセス道路について（建設課からの説明）

- ・事業の総延長は、1.5km になる。
- ・令和 5 年度より、県道部の南側の部分を整備していく。令和 6 年度には、桃山学園の前の交差点部分の改築および全体の舗装工事を行う予定。
- ・県道の接続部分については、県で整備することとなっており、現在、整備時期の調整中となっている。
- ・道路の構造として、車道 5.5m、その両側に自転車が通る道を 1.5m ずつ、その東側に歩道 2.5m、全体として 11m の幅員を予定している。
- ・桃山学園の西側に神社があって、さらに西に源法寺橋があり、そちらの区間を歩道整備と道路改良をしていく予定がある。令和 6 年度中に完了を予定している。

○質問

- ・事業は、通学路整備を目的としているのか、交通緩和を目的としているのか。また、小中学生は、新設された道路を使って、桃山学園に通わなければならないのか。
⇒通学路整備事業として整備を行っている。また、通学路については、学校の考え方もあるので、必ずしも新設された道路を使わなければならないというわけではない。
- ・行事などの時に、桃山学園の東側から旧真壁小学校までの道路が、渋滞になってしまう懸念があるため、そちらも何かしらの対応を検討してほしい。
⇒道路が新設されるので、例えば、正門に侵入せずに、広い駐車場の方に行って乗降していただくことで、対応ができると考えている。その他、混雑にならないように、必要な規制なども検討できればと思う。
- ・交通規制などは、検討しているか。
⇒交通規制は、県警が行うので、要望をしていきたい。

○統合時期について

- ・樺穂小学校の校舎及び桃山学園までのアクセス道路について説明後、桜川中学校区と桃山学園の統合時期は、令和 7 年 4 月とすることでまとまる。

2. 各分科会のスケジュールについて

- ・桃山中学校区統合準備委員会での統合スケジュールを基に、各分科会のスケジュールを確認する。

学校生活分科会	各学校の運営や行事のすり合わせ、児童の交流などについて協議。
総務分科会	初めに学校名や校章についての協議を行い、その後、体操服や制服にかかる協議を行い、展示会などを行う予定。 その他、PTAのすり合わせや、移転の準備などを行う。
通学安全分科会	現在の通学支援の基準や他市町村の状況を確認後、通学支援の基準や予想される通学支援者数、中学校の通学支援などについて協議。 通学路の安全確認やバスの乗り方などについても確認予定。

- ・上記とは別に、閉校に向けた準備（閉校式典や閉校記念誌、閉校記念品など）を行っていく。

○質問

- ・統合時期が、令和7年度4月となったので、保育園や子ども園の保護者にもお知らせしてほしい。
- ・今回の統合は、中学校の統合もあり、色んな問題が出てくると思われるので、早めの協議をしてほしい。

桜川市公共施設個別施設計画

令和3年3月
茨城県 桜川市

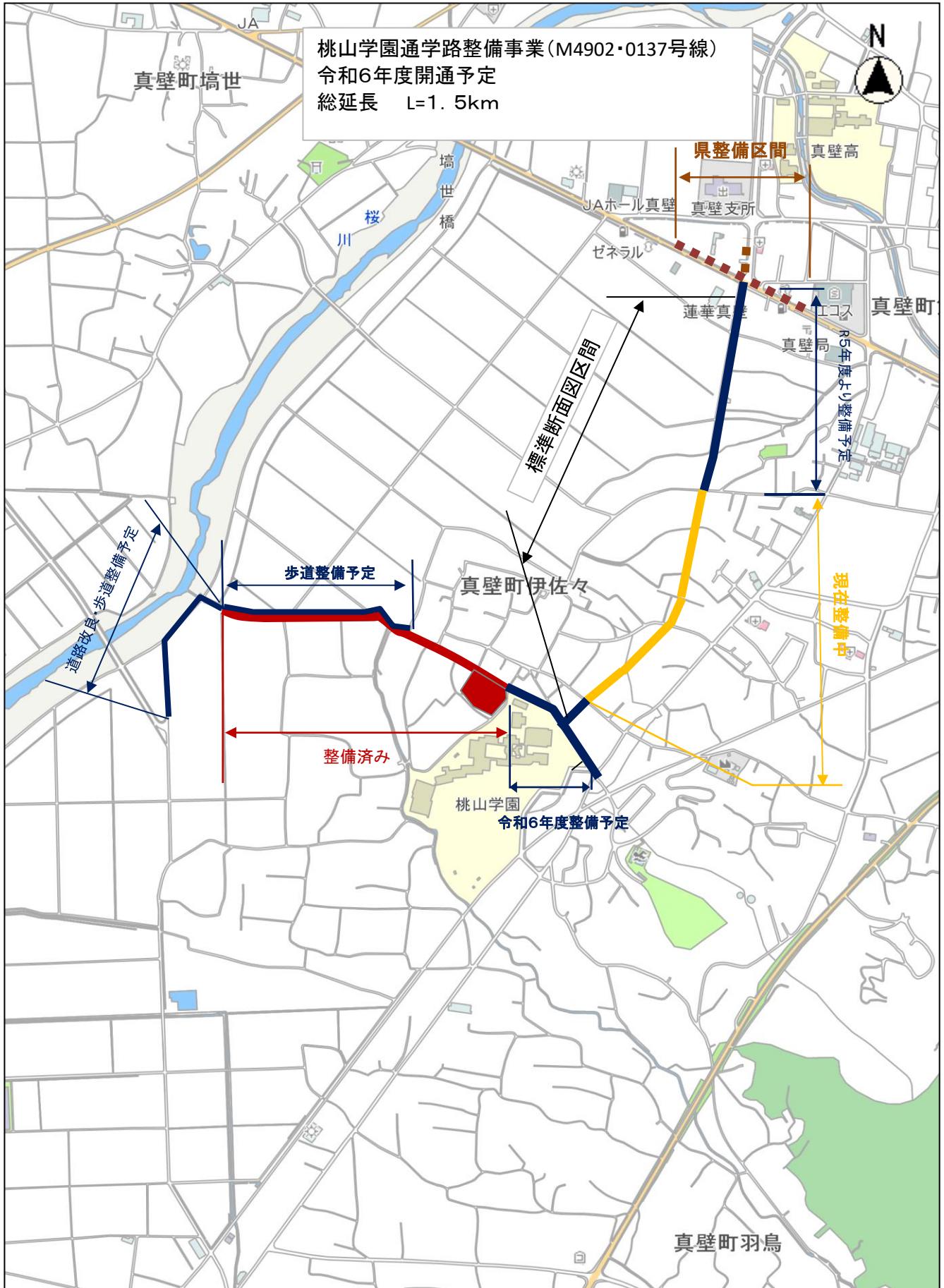
No	施設名称	棟名称	構造	耐震基準	耐震診断状況	耐震性有無	耐震補強工事	コンクリート圧縮強度(N/mm ²)	IS値	判定	
5.学校											
28	桜川市立羽黒小学校	校舎	RC	新						長寿命化	
		屋内運動場	S	旧	実施	無	実施		0.73	長寿命化	
29	桜川市立猿田小学校	校舎	RC	新						長寿命化	
		屋内運動場	S	旧	実施	無	実施		0.88	長寿命化	
		校舎_プール専用付属室	S	新							長寿命化
30	桜川市立岩瀬小学校	校舎_南校舎_管理教室棟	RC	旧	実施	有	不要		0.69	長寿命化	
		校舎_北校舎_特別教室棟	RC	新							長寿命化
		屋内運動場	S	旧	実施	無	実施		0.74	長寿命化	
31	桜川市立坂戸小学校	校舎	RC	新						長寿命化	
		屋内運動場	S	旧	実施	無	実施		0.74	長寿命化	
32	桜川市立南飯田小学校	校舎	RC	新						長寿命化	
		屋内運動場	S	旧	実施	無	実施		0.94	長寿命化	
33	桜川市立樺穂小学校	校舎_南校舎	RC	旧	実施	有	不要		0.78	長寿命化	
		校舎_北校舎	RC	旧	実施	有	不要		0.60	長寿命化	
		屋内運動場	S	旧	実施	無	実施		0.87	長寿命化	
34	旧桜川市立紫尾小学校	校舎_北校舎	RC	旧	実施	有	不要		0.95	長寿命化	
		屋内運動場	S	旧	実施	無	実施		0.77	長寿命化	
35	桜川市立谷貝小学校	校舎	RC	旧	実施	有	不要		0.76	長寿命化	
		屋内運動場	S	旧	実施	無	実施		0.77	長寿命化	
36	桜川市立雨引小学校	校舎	RC	新						長寿命化	
		屋内運動場	S	旧	実施	無	実施		0.81	長寿命化	
37	桜川市立大国小学校	校舎_南校舎	RC	旧	実施	無	実施		0.73	長寿命化	
		校舎_北校舎_東	RC	新							長寿命化
		校舎_北校舎_西	RC	新							長寿命化
		校舎_渡り廊下	RC	新							長寿命化
		校舎_校舎_東_図書室	RC	新							長寿命化
		屋内運動場	S	旧	実施	無	実施		0.77	長寿命化	
38	桜川市立岩瀬西中学校	校舎_管理棟3-2	RC	旧	実施	無	実施		0.72	長寿命化	
		校舎_管理棟3-1	RC	旧	実施	無	実施		0.72	長寿命化	
		校舎_技術棟	S	旧	実施	有	不要		0.87	長寿命化	
		校舎_プール専用付属室	S	旧	未実施		未実施				耐震補強
		屋内運動場_屋内運動場	S	旧	実施	無	実施		0.75	長寿命化	
		屋内運動場_武道場	S	旧	実施	無	実施		0.75	長寿命化	

No	施設名称	建物名称	一次評価			二次評価							傾向分類
			構造躯体の健全性	経過年数割合(%)	一次評価	点数(各5点満点)					合計点(25点満点)	二次評価	
						学級数	一人あたり床面積	人口密度	ハザードマップ	公的必要性			
小中一貫校													
42	桜川市立桃山学園	西校舎	長寿命化	2.5	維持	5	1	5	5	5	21	良	長寿命化
		校舎_管理普通教室棟	長寿命化	37.5	維持								長寿命化
		校舎_特別教室棟	長寿命化	37.5	維持								長寿命化
		屋内運動場_体育館	長寿命化	38.8	維持								長寿命化
		屋内運動場_柔剣道場	長寿命化	32.5	維持								長寿命化
		西体育館	長寿命化	2.5	維持								長寿命化
		西体育館_付属エリア	長寿命化	2.5	維持								長寿命化
		プール棟	長寿命化	2.5	維持								長寿命化
		校舎_プール専用付属室	長寿命化	46.3	維持								長寿命化
		卓球場	長寿命化	2.5	維持								長寿命化
		地域・学校連携施設	長寿命化	38.8	維持							長寿命化	

表 3-3 学校の劣化調査結果一覧

No	施設名称	建物名称	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
小学校										
28	桜川市立羽黒小学校	校舎	B	B	B	B	B	B	B	24.22
		屋内運動場	C	C	B	D	C	C	C	44.43
29	桜川市立猿田小学校	校舎	B	B	B	B	B	B	C	26.69
		屋内運動場	C	C	C	C	C	C	C	43.57
		校舎_プール専用付属室	B	B	B	B	B	B	B	25.92
30	桜川市立岩瀬小学校	校舎_南校舎_管理教室棟	C	D	C	C	C	C	C	45.95
		校舎_北校舎_特別教室棟	B	B	B	B	B	B	B	24.35
		屋内運動場	C	C	C	C	C	C	C	47.17
31	桜川市立坂戸小学校	校舎	B	B	B	B	B	B	B	23.95
		屋内運動場	C	C	C	D	C	C	C	48.41
32	桜川市立南飯田小学校	校舎	B	B	C	B	B	B	C	28.06
		屋内運動場	C	C	C	C	C	C	C	42.61
33	桜川市立榎穂小学校	校舎_南校舎	C	D	D	D	D	D	D	52.00
		校舎_北校舎	C	D	D	D	D	D	D	52.00
		屋内運動場	C	C	C	D	C	C	C	46.58

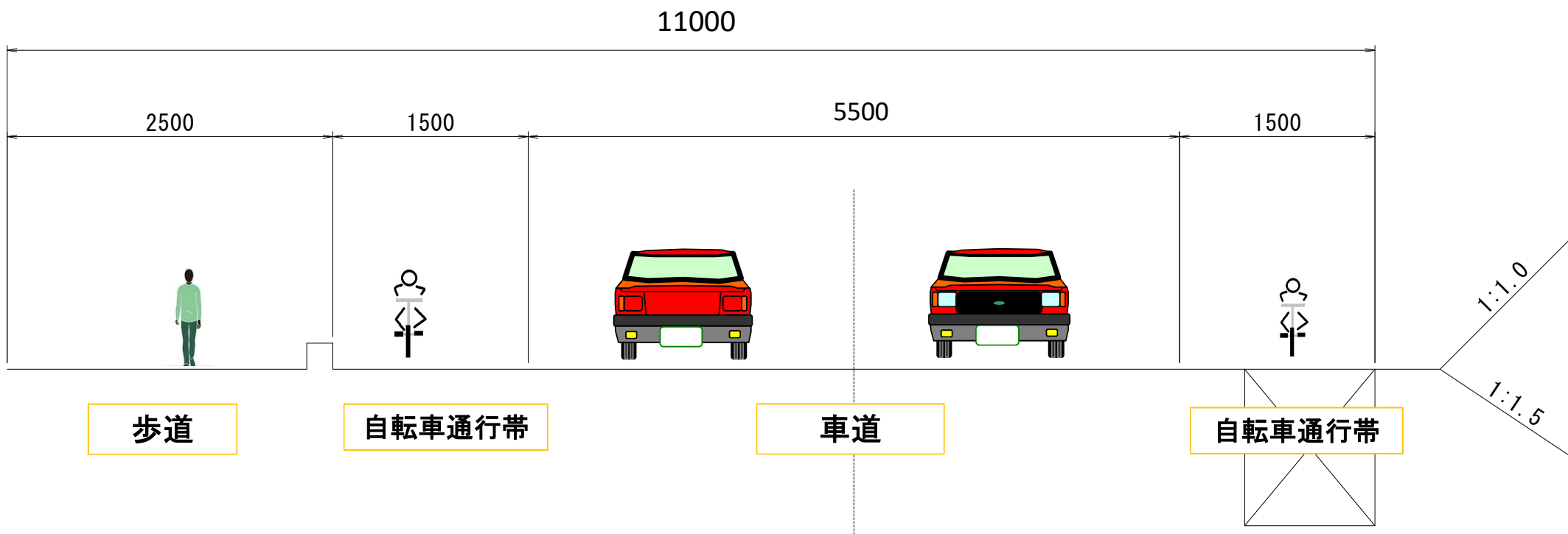
平面図(真壁町飯塚～伊佐々地内)



東

桃山学園通学道路標準断面図

西



桃山小中学校区統合準備委員会

	全体会 【委員34名】	教育目標 【委員6名】	総務・建設 【委員17名】	通学 【委員15名】	閉校関係 【参考：真壁小学校】 ※紫尾小学校でも内容は同じ
H27 9月	第1回 ・委員の委嘱 ・委員長・副委員長の決定	第1回 ・全体会と併催 ・正副分科会長の決定	第1回 ・全体会と併催 ・正副分科会長の決定	第1回 ・全体会と併催 ・正副分科会長の決定	
10月		第2回 ・教育目標の検討 ・教育目標の策定 ・市内小中学校共同宿泊学習実施の検討	第2回 ・協議内容の確認 ⇒学校名、校章、校歌 ・PTA組織は各PTAにより検討	第2回 ・各小学校区による通路の検討 ・危険箇所のピックアップ ・事務局案と現在の通学路比較検討 ・通学路の改善事項提案	
11月		第3回 ・教育目標案の検討 ・教育目標キーワード確認	第3回 ・総務・建設、通学合同分科会 ・校舎設計ワークショップ ・意見交換	第3回 ・総務・建設、通学合同分科会 ・校舎設計ワークショップ ・意見交換	
12月					
H28 1月		第4回 ・教育目標案・目指す児童生徒像案 ・目指す教師像案・目指す学校像案 ・学校経営方針案の検討			
2月			第4回 ・総務・建設、通学合同分科会 ・校舎設計ワークショップ ・意見の反映状況を報告	第4回 ・総務・建設、通学合同分科会 ・校舎設計ワークショップ ・意見の反映状況を報告	
3月					
4月	第2回 ・H27事業経過の報告 ・H28関係予算の説明 ・校舎基本設計図の説明				
5月		第5回 ・推進組織の検討 ・28年度の課題と取組み ・運営スケジュール	第5回 ・学校名公募の募集要項の決定 ・今後の決定事項の確認 ⇒校名、校章、校歌、保護者負担、関連行事（閉校式など）	第5回 ・28年度のスケジュール確認 ⇒通学手段の検討、通学距離の検討、危険箇所の確認 ・現在の通学班をベースに検討	
6月		第6回 ・各作業部会の報告、検討 ・つくば市紫峰学園への質問事項 ・桃山中学校区小中連携協議会			
7月		【作業部会】 ①学校運営G⇒経営計画、行事、諸帳票 ②学ぶ力育成G⇒通知表、総合的な学習 ③関わる力育成G⇒生活規則、生徒会等 ④鍛える力G⇒保健体育指導計画、グラウンド使用、健康診断等 ⑤事務共同実施G⇒学校徴収金等			
8月			第6.7回 ・体操服の検討（第6回） ・学校名公募審査に係る事前説明 ・学校名公募審査実施「桃山学園」を選考（第7回）	第6回 ・通学、通学路の検討について ⇒函面を使った検討	
9月	第3回 ・委員長の選任 ・学校名公募の審査結果を教育委員会に推薦 ・体操服の方針確認（総務・建設分科会に一任） ・校舎実施設計の報告	第7回 ・各作業部会の報告、検討	第8回 ・体操服の検討 ・商品説明に取扱業者、メーカー2名参加		
10月			第9回 ・体操服の検討 ・商品説明に取扱業者、メーカー2名参加		
11月		第8回 ・各作業部会の報告、検討	第10回 ・体操服の決定 ・校歌の方針決定（新規作成） ・校章の公募	第7回 ・通学支援の基準について ⇒国の基準及び県内の事例紹介 ・通学路現地調査の実施	
12月					
H29 1月			第11回 ・校章の募集要項の確認 ・学校名公募に係る受賞者の抽選 ・自転車ステッカー、名札（学校に一任）		
2月	第4回 ・各分科会の活動内容の報告 ・H29年度の予算・活動予定 ・校章デザイン案の公募の進捗と募集のお願い	第9回 ・各作業部会の報告、検討 ・教室環境の小中ギャップ ・不登校児童の出現率			
3月		第10回 ・各作業部会の報告、検討 ・次年度について			
4月				第8回 ・通学路現地調査の結果報告・新ルート提案 ・通学支援の範囲 ・客観性担保 ⇒低学年2.5km～、高学年3.5km～	
5月			第12回 ・校章公募のデザイン案審査		
6月	第5回 ・校章デザイン候補3作品の確認 ・校歌の方針検討（総務建設分科会に一任） ※新しく作る予定⇒議会や保護者から意見多数 ・通学支援の方針確認（同心円と直線距離）		第13回 ・校章公募デザイン案3作品のアレンジ ・校歌の作成方針 ⇒「桃山中学校校歌の一部変更」		閉校事業実行委員会開催に係る準備
7月		第11回 ・各作業部会の報告、協議		第9回 ・通学支援の適用範囲を確認 ・通学支援の方法（バスやタクシー） ・子供会に危険箇所情報を提供依頼 ・桜川市通学路安全推進会議に提出	第1回 第1回閉校事業実行委員会（7月12日） ①規約（作業部長の選出）②閉校記念誌（予算・礼数）③閉校式・お別れ会（参加者、PTA総会）④記念品作成（クリアファイル）
8月					
9月					真壁小閉校に係る区長会の開催 ①閉校に向けた取組み・事業 ②その他
10月				第10回 ・通学路案の訂正や危険箇所対策 ⇒子供会からの情報を基に検証 ・通学支援（少人数はタクシー）	第2回 第2回閉校事業実行委員会（10月10日） ①各作業部の進捗状況 ②閉校記念品（クリアファイルデザイン） ③閉校記念誌（内容、執筆依頼）
11月	第6回 ・決定した校章の報告 ・作成した校歌の確認（全員賛成） ・通学路の承認（協議中の地区を除く） ・PTA規約完成の報告（分科会とは独立）		第14回 ・作成した校歌の確認（全員賛成）		
12月		第12回 ・行事予定について ・PTA教育後援会の規約について ・閉校式・開校式準備進捗状況			第3回 第3回閉校事業実行委員会（12月12日） ①閉校式・お別れ会（招待状・内容） ②閉校記念品（予算・納品見直し・配布） ③閉校記念誌（校正）
H30 1月					第4回 第4回閉校事業実行委員会（1月18日） ①閉校式・お別れ会（スライドショー試写、しおり、準備） ②閉校記念誌（校正）
2月	第7回 ・各分科会の活動内容の報告 ・桃山中学校閉校式（2月24日）			第11回 ・調整があった通学路について報告 ・通学路の最終決定 ・別日に地区に説明会実施 ・別日にバスの試乗会	第5回 第5回閉校事業実行委員会（2月14日） ①閉校式・お別れ会（スライドショー試写、しおり） ②閉校記念誌
3月	・真壁小学校閉校式（3月3日） ・紫尾小学校閉校式（3月4日） ・引っ越し作業（3月24日）				・備品の搬出 ・卒業記念品の取り扱い通知